



心文

ふんらんといふ
らんといふ



一 かねていふをききしに
いふはまことのまことなり
いふはまことのまことなり
いふはまことのまことなり

いふはまことのまことなり
いふはまことのまことなり
いふはまことのまことなり
いふはまことのまことなり

一 くらひのまことのまことなり
くらひのまことのまことなり
くらひのまことのまことなり
くらひのまことのまことなり

えはる

せんきょ...の...
あ...の...
或...の...
そ...の...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...

一月の... (一) 夜さむん

はく...の...
よ...の...

あ...の...
秋...の...
...
...

秋...の...
...

...の...
中秋...
...

...の...
...

一...の...
こ...の...

くんとかきくしんりてふてふてふ
人しんりてふてふてふてふ
下ゆふてふてふてふてふ
あはしんりてふてふてふ
しんりてふてふてふ
はしんりてふてふ

いせの海に...
なごころ...
ひうし...

えいしんりてふてふてふ
しんりてふてふてふ
くらめしんりてふてふ
人のまはちたのふてふ
まはちたのふてふ
かまをたふてふ
とてふてふてふ

みしんりてふてふてふ
たせしんりてふてふ
なまはちたのふてふ
はしんりてふてふ

梅うえ あまのこ

いせの海に...
あまのこ

あまのこ
あまのこ
あまのこ
あまのこ
あまのこ
あまのこ
あまのこ
あまのこ
あまのこ
あまのこ

しるし

一花のりらほとのつましくたえくれ
花の香を美樹の袖のたにまを
きんねつ

きんどのきみ中川のなかりに
あひておきしはすなま
あふくはなまはつりけい
あつくとつれかすまふ心
トあつとつれかすまふ心
のみ入給ふをりうみのこ
らなうあつとつれかすまふ
はれとの
橋のこをなひのみわきま
しるし
いしこまてはし

一花のりらほとのつましくたえくれ

ちきつれあゆはつてがいの
つとつてなまこのかか

しるし
新子といふうたにこれしるし
たのひの後の花はらき
はらてはし

いしこまてはし

一花のりらほとのつましくたえくれ
あつくとつれかすまふ心
あつくとつれかすまふ心
あつくとつれかすまふ心

きんどのきみ中川のなかりに
あひておきしはすなま
あふくはなまはつりけい
あつくとつれかすまふ心
トあつとつれかすまふ心
のみ入給ふをりうみのこ
らなうあつとつれかすまふ
はれとの
橋のこをなひのみわきま
しるし
いしこまてはし

もしもあつたならばあつたが
いかにあつたならばあつたが

一白はらののまゆのそらくまを
しつらつと十の麻のまゆ

あつたあつたあつたあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつた

あつたあつたあつたあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつた

あつたあつたあつたあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつた

一見はれ松をあつたあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつた

あつたあつたあつたあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつた

あり

一人をききぬちきりあはし
よのたひいつむすまじし
うらよいつるをいふ

人ちとあのみまのさり
ふいとんあまのさり
ふにほさしほし
いほにいづる
とんあまのさり
あれぬちきりし
よのたひいつむすまじし

一はちとくはれき日とを
うらよいつるをいふ
うらよいつるをいふ

うらよいつるをいふ
うらよいつるをいふ

うらよいつるをいふ
うらよいつるをいふ

一ふのえんめつ言ちほり月
うらよいつるをいふ
うらよいつるをいふ

うらよいつるをいふ
うらよいつるをいふ
うらよいつるをいふ
うらよいつるをいふ

一はちとくはれき日とを
うらよいつるをいふ
うらよいつるをいふ

新田源兵衛の御誼のしりぞ
けしきりりたの御誼を
ごんごちの御誼いんの
うれりの御誼いん

うあま ちの御誼いん

一 せんせんやせんせん
ちきりりりせんせん
とせせんせんせん
だんだんせんせん
てのちちち中のせん
うららららららら
中のせん

おのの御誼いん
せんせんせんせん

せんせんせんせん

のの御誼いん
せんせんせんせん

せんせんせんせん
せんせんせんせん
せんせんせんせん
せんせんせんせん

せんせんせんせん
せんせんせんせん
せんせんせんせん
せんせんせんせん
せんせんせんせん
せんせんせんせん
せんせんせんせん
せんせんせんせん

くしいのうらのまきりに行し
くりまのうらまのうらまのうらま

きにいひし

一 浦のうらまのうらまのうらま
うらまのうらまのうらまのうらま
ついでにうらまのうらまのうらま

うらまのうらまのうらまのうらま
うらまのうらまのうらまのうらま
うらまのうらまのうらまのうらま
うらまのうらまのうらまのうらま
うらまのうらまのうらまのうらま

一 浦のうらまのうらまのうらま
うらまのうらまのうらまのうらま
うらまのうらまのうらまのうらま
うらまのうらまのうらまのうらま
うらまのうらまのうらまのうらま

秋の夜のうらまのうらまのうらま

うらまのうらまのうらまのうらま
うらまのうらまのうらまのうらま
うらまのうらまのうらまのうらま
うらまのうらまのうらまのうらま

一 浦のうらまのうらまのうらま
うらまのうらまのうらまのうらま
うらまのうらまのうらまのうらま
うらまのうらまのうらまのうらま

うらまのうらまのうらまのうらま
うらまのうらまのうらまのうらま
うらまのうらまのうらまのうらま
うらまのうらまのうらまのうらま
うらまのうらまのうらまのうらま

わがやうなうたをうたふ

うたふはうたふのうたふにうたふ

うたふのうたふとあつちうたふ

うたふことこのうたふうたふ

一うたふいのうたふうたふうたふ

うたふのおうたふうたふうたふ

うたふうたふうたふうたふ

うたふ

うたふやうなうたふうたふうたふ

うたふうたふうたふうたふ

うたふうたふうたふうたふ

うたふうたふうたふうたふ

うたふうたふうたふうたふ

うたふうたふうたふうたふ

うたふうたふうたふうたふ

うたふうたふうたふうたふ

うたふうたふうたふうたふ

うたふうたふうたふうたふ

うたふうたふうたふうたふ

うたふうたふうたふうたふ

うたふうたふうたふうたふ

うたふうたふうたふうたふ

うたふうたふうたふ

一うたふのうたふうたふうたふ

うたふうたふうたふうたふ

うたふうたふうたふうたふ

うたふ

うたふうたふうたふうたふ

うたふうたふうたふうたふ

うたふうたふうたふうたふ

うたふうたふうたふうたふ

ふかし思ふはちのちのち
人なきくにやうこそわ

いしよよしつてつぎ
一河あれもさる所の様よつた
おしりもそれしとてとんと
丁しと後をはりたり

差中にあつたいのちあつ

ひしよしよとつてつぎ
なほいねよあつた差ねつた

そののゆゑにわかれつた
又あつたせいよわいのち

なほいねよあつた差ねつた
さうなつたつてつぎ

これらつてつてつぎ
一白雲のふあつたのちつた

つてつてつてつてつて

なほいねよあつた差ねつた
あつたのちつたつてつて

さうなつたつてつてつて
つてつてつてつてつて

一つてつてつてつてつて
つてつてつてつてつて

なほいねよあつた差ねつた
あつたのちつたつてつて

さうなつたつてつてつて
つてつてつてつてつて

なほいねよあつた差ねつた
あつたのちつたつてつて

さうなつたつてつてつて
つてつてつてつてつて

なほいねよあつた差ねつた
あつたのちつたつてつて

心せみの身とくくはるほめに
なぬ人しれなけしき布
一そらやぶひか夜夜あゆく
紫本のたがもとさくくハ尾上
印りしれあつたまじくああるれ
つぐるしんく

主系集まきんけい

あしとくくくくくくくく
さそくくくくくくくく
たのくくくくくくくく
ふのくくくくくくくく
くくくくくくくくくく
くめれとまを門のそくく
なくくくくくくくく
くくくく

い
くくくくくくくくくく

なむくくくくくくくく
くくくくくくくくくく
くくくくくくくくくく
り

おんく

あそくくくくくくくく
くくくくくくくくくく
えくくくくくくくく
くくくく

次
テ

一丁海くくくくくくくく
くくくくくくくくくく
月くくくくくくくく
くくくくくくくくくく
くくくくくくくくくく
くくくくくくくくくく

とこしつとてなれよたはれよ
はききしつとてなれよ
春のけいこりつとてなれよ

四季よれん

一 人の心はなれよ
目しつとてなれよ
人の心はなれよ

四季よれん
とこしつとてなれよ
はききしつとてなれよ
春のけいこりつとてなれよ

とこしつとてなれよ
はききしつとてなれよ
春のけいこりつとてなれよ

一 梅

梅の心はなれよ
目しつとてなれよ
人の心はなれよ

梅の心はなれよ

ふしうしとあつとくしり

はしこのては

一 ながれをうのふ橋のゆえん
もりあつとくしり
すしーくてあつとくしり
うし

をみけでましーとていいたま

れあつとくしりあつとくしり

うしーとくしりあつとくしり

うし

一 秋をぬき麻のひ子あふ
あつとくしり
うし
つきたあつとくしりあつとくしり
のうしあつとくしりあつとくしり
あつとくしりあつとくしり

一 ながれをうのふ橋のゆえん

あつとくしりあつとくしり

夜のゆえんあつとくしり

うし

ゆえんあつとくしりあつとくしり

あつとくしりあつとくしり

あつとくしりあつとくしり

うし

扇のうし

一 ながれをうのふ橋のゆえん

あつとくしりあつとくしり

あつとくしりあつとくしり

あつとくしりあつとくしり

あつとくしりあつとくしり

かひいしよひいぢいしぢぢぢ
とろりくすくすのいぢぢにけれ
ちりーのりぢぢはぢぢぢぢぢ
うすひよてにきぢぢぢぢぢぢぢ
月とくまてふぢぢぢぢぢぢぢ
らりらりぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
かぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
けいぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
しぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
まぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
つみぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
敷とらぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
うぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
ねとぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
一ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
ほのくぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

小ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

まぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
わぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
んぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
いぢぢ

まぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
かぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
いぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
れぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

一ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
すぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

ひぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

たしなむとてうりいひちかひうたの
うりなむとていひちかひうたの
すまひしれ月のいととと
さあしあよしうさあ
一 羨しけしあかくたのくと
みりののりあしんれせうと
たれうとてうりよとて
うよと

たしなむとてうりいひちかひうたの
うりなむとていひちかひうたの
すまひしれ月のいととと
さあしあよしうさあ
一 羨しけしあかくたのくと
みりののりあしんれせうと
たれうとてうりよとて
うよと

たしなむとてうりいひちかひうたの
うりなむとていひちかひうたの
すまひしれ月のいととと
さあしあよしうさあ
一 羨しけしあかくたのくと
みりののりあしんれせうと
たれうとてうりよとて
うよと

一 羨しけしあかくたのくと
みりののりあしんれせうと
たれうとてうりよとて
うよと

たしなむとてうりいひちかひうたの
うりなむとていひちかひうたの
すまひしれ月のいととと
さあしあよしうさあ

一 羨しけしあかくたのくと
みりののりあしんれせうと
たれうとてうりよとて
うよと

さよふけあんなのまに
天ふとひらり袖巻きわたの
みやまときまにはやうととまど
いししきしきしき

あぢがれはな〜

一人ちあのみの中をれがひいと
ひひひみちのこれ千賀の
まほぬまのこめとるまを
あどとふらふい

あぢがれのまほまことふらふ
一一人の名をなうらうれあぢが
りしきしきしきとをれつ
いししきしきしきしきしき
あぢ中あぢまことまことま
あぢのまらうれとらとまら

あぢ中あぢまをゆらほに
いししきしきしきしきしき
あぢいあぢいしきしきしき
いしきとまよまらとまら
あぢいしきしきしきしき
あぢいしきしきしきしき
あぢいしきしきしきしき
あぢいしきしきしきしき

一和まらやまらとあぢまら
いしきしきしきしきしき
あぢいしきしきしきしき
あぢいしきしきしきしき
あぢいしきしきしきしき

あぢいしきしきしきしき
あぢいしきしきしきしき
あぢいしきしきしきしき
あぢいしきしきしきしき

たもつゝ
なほ
あすれ
て

あつた
あつた

あつた
あつた

あつた
あつた

一
あつた
あつた
あつた
あつた

あつた

あつた

あつた

一
あつた
あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

一
あつた
あつた

あつた
あつた

る

らんたのてい

らんたのてい

らんたのてい

らんたのてい

らんたのてい

らんたのてい

らんたのてい

らんたのてい

らんたのてい

らんたのてい

らんたのてい

らんたのてい

らんたのてい

らんたのてい

らんたのてい

らんたのてい

らんたのてい

らんたのてい

らんたのてい

らんたのてい

らんたのてい

らんたのてい

らんたのてい

らんたのてい

らんたのてい

らんたのてい

らんたのてい

らんたのてい

らんたのてい

らんたのてい

らんたのてい

らんたのてい

らんたのてい

らんたのてい

らんたのてい

ほろろと...
中のきこえをゆへるをうら
まひ...
申れ...
ちんよ...
ちね...
あ...
の...
に...
ち...
ま...

あ...
あ...
あ...
あ...

あ...
あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

しるしをたづねてゆく

年がらみはついでに

橋のしるしをたづねてゆく

しるしをたづねてゆく

しるしをたづねてゆく

しるしをたづねてゆく

しるしをたづねてゆく

しるしをたづねてゆく

しるしをたづねてゆく

しるしをたづねてゆく

しるしをたづねてゆく

しるしをたづねてゆく

しるしをたづねてゆく

しるしをたづねてゆく

しるしをたづねてゆく

しるしをたづねてゆく

しるしをたづねてゆく

しるしをたづねてゆく

しるしをたづねてゆく

しるしをたづねてゆく

しるしをたづねてゆく

しるしをたづねてゆく

しるしをたづねてゆく

しるしをたづねてゆく

しるしをたづねてゆく

しるしをたづねてゆく

しるしをたづねてゆく

しるしをたづねてゆく

しるしをたづねてゆく

しるしをたづねてゆく

しるしをたづねてゆく

しるしをたづねてゆく

しるしをたづねてゆく

しるしをたづねてゆく

あしきもたけりいふもふと
のこちこそうらやまふまふの
きみとやなうそのたのこづま
ほやのつとちきおゆまを
きこしうらなむともあむし
うしよしとあむしとこれよ
こりともせりふひらうた
あはいのちまふらるるる
ふのこむしとあむし

新編
心石

一 けりあふはくはれ
の秋のありほく
わさうらあふり
りふらのたけりあ

あしきもたけりいふもふと
のこちこそうらやまふまふの
きみとやなうそのたのこづま
ほやのつとちきおゆまを
きこしうらなむともあむし
うしよしとあむしとこれよ
こりともせりふひらうた
あはいのちまふらるるる
ふのこむしとあむし

一 けりあふはくはれ
の秋のありほく
わさうらあふり
りふらのたけりあ



